

報道関係者各位

2011年2月3日

森ビル株式会社

## 高さ約100mの複合ビル「アークヒルズ フロントタワー」竣工 25周年を迎える「アークヒルズ」が進化

森ビル株式会社が、東京都港区赤坂にて推進して参りました「アークヒルズ フロントタワー」が竣工し、本日2月3日（木）に竣工式を執り行いました。当ビルは、地上22階建、延床面積約24,900㎡、オフィス（2・13～21階）、住宅（6～12階）、店舗（1階）、駐車場（3～5階）からなる複合用途ビルです。

### 当ビルの主な特徴

存在感と落ち着きを持つエントランスと  
開放感のあるオフィス  
多様なライフスタイルを実現するレジデンス  
生物多様性にも配慮、超高層オフィスビルとしては都内最大級の約1,000㎡のルーフガーデン  
制振装置を3フロアに集約した日本初の高層ビル  
職住商の複合施設を運営する森ビルならではの  
ヒルズ連携ワーカー向けサービスを提供



### 森ビル株式会社 代表取締役社長 森稔 コメント

最新のオフィスとレジデンスを備えた「アークヒルズ フロントタワー」は、アークヒルズの機能や魅力を最大限に享受しながら、当エリアのさらなる発展に寄与するものと期待しています。今後、周辺エリアでは、「虎ノ門・六本木地区再開発」や「21・25森ビル建替計画」、「環状二号線プロジェクト」など、当社が手がける事業のみならず、複数の事業者により新たなプロジェクトが続々と計画されています。森ビルは、当エリアを含め、新橋、虎ノ門、六本木エリアにおいて、一体的なエリアマネジメントを展開し、グローバルスタンダードをリードする真の国際都心として東京を再生していきたいと考えております。今年25周年を迎えるアークヒルズの豊かな緑の丘に象徴されるように、地球環境に優しく、周辺地域の皆さまはもちろん、海外の皆さまにも快適にお過ごしいただけるような、魅力溢れるヴァーティカルガーデンシティ（立体緑園都市）構想の実現に邁進してまいります。

別紙 森ビルが重点的かつ戦略的に再開発を進める「大街区」周辺エリア

## 存在感と落ち着きを持つエントランスと開放感のあるオフィス

構造体の機能美を活かした天井高約9mのエントランスピロティは、周囲からも目を惹く存在感を持たせました。一方、エントランスロビーは、六本木通りの喧騒とは対照的に落ち着いた空間です。



オフィスエントランス



オフィスエントランスロビー

オフィスは、総貸室面積約9,539㎡(約2,886坪)、基準階貸室面積約1,008㎡(約305坪)の整形・無柱空間で、レイアウトの自由度が高く、現代の多様なニーズに応えるための最先端のオフィススペックを装備しました。また四方に設けられたワイドビューの窓により、眺望とともに開放感のある執務空間を提供します。

さらにオフィスワーカーはルーフガーデンの利用が可能(居住者も利用可)です。都心では希少な空に開かれた緑溢れる空間は、絶好のリフレッシュスペースであるとともに、ワーカーの知的生産性を高めるためのスペースとなります。



オフィス基準階



オフィス(13階)からの眺望

なお、オフィスには、給食業界大手のエームサービス株式会社様が入居予定(3月)です。

### エームサービス株式会社 上席執行役員 人財本部長 久松博和様のコメント

これまで入居していたビルでは、約26年間、業容の拡大に応じ都度フロアを増やしてまいりましたが、現在では、5フロアにまたがり且つ細切れに借りる他なく、スペース効率、コミュニケーションといった点に問題を抱えておりました。又、子会社との機能統合を更に推進していく必要性もことから、これを機に子会社も含め点在するオフィスを集約すべく、今回、約2年の検討期間を経て本社移転を正式に決定しました。

本ビルに決定した理由は、以下の通りです。

1. ランドマークとなるアークヒルズの真向かいであること
2. これまでと同じ港区内であること
3. 開放的なルーフガーデンがあり、様々な活用方法がイメージ出来ること
4. 最上階より5フロアを続き階で借りることが出来たこと
5. 当社の研究開発機能(テストキッチン等)を2Fに設置できたこと

## 多様なライフスタイルを実現するレジデンス

住宅では、多様なライフスタイルを実現する住まい方 RoP を提案しています。総戸数 41 戸（賃貸戸数 38 戸）、住戸面積約 65～200 m<sup>2</sup>（1～3BR）、最大 3.0mの天井高、30cm のフリーアクセスフロア、ハイスペックな電気容量と空調設備を擁しています。住みながら、多様なライフスタイルに応じて柔軟にご利用いただけるのが特徴のひとつです。

また、ラウンジやミーティングルーム、各階トイレなどの共用施設も完備、都心 4 箇所のヒルズスパも含め、暮らしのすべてを快適にサポートします。

### RoP とは

Residence of Professionals(プロフェッショナル)・Personality(個性)・Possibility(可能性)・Prosperity(成功)・Prospects(期待)・Play(遊び)・Pals(仲間)・Proposals(提案)などの略で、入居者に自分らしいライフスタイルを実現していただくために、森ビルが提供する提案型住宅です。これまでにオランダヒルズ森タワーRoP など一部の住宅で導入しています。



撮影 フォワードストローク

## 生物多様性にも配慮

### 超高層オフィスビルとしては都内最大級の約 1,000 m<sup>2</sup>のルーフガーデン

約 1000 m<sup>2</sup>の広大なルーフガーデンは、生物多様性の考え方に基づき、地域種を主とした植栽計画とし、芝生や多様な中高木を含めた豊かな緑を 300 m<sup>2</sup>以上確保。雨天にも対応可能なパーティースペースも設けます。皇居、東京湾、西新宿などが眺望でき、オフィスワーカー・居住者の憩い、交流、リフレッシュの場として機能。また、地上部では、建物外周部に約 3mの歩道状空地、敷地北東側に約 250 m<sup>2</sup>の広場状空地を整備し、緑化やバリアフリーに配慮した地域に開かれたスペースとすることで、屋上、地上合わせて、単体のビルとしては画期的な約 40%の緑被率を実現しました。

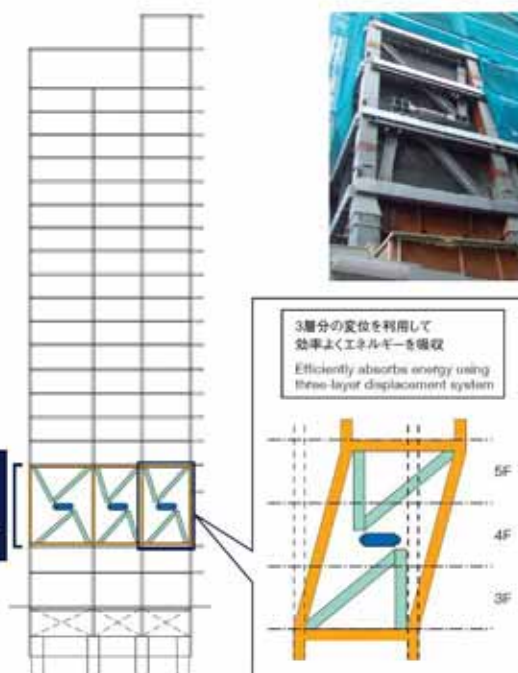


屋上、地上合わせて約 40%の緑被率を実現

### 制振装置を3フロアに集約した日本初の高層ビル

近接する首都高速道路の高さと重なる 3~5 階部分に駐車場を配置したフロア構成の特徴を利用し、従来は基準階にバランスよく配置していた制振ダンパーを駐車場階 3 フロア (3~5 階) に集約しました。当計画は、このような集約型制振構造をもつ日本で初めての高層ビルとなります。制振装置を集約することで、従来に比べ制振ダンパーの量 (総減衰力) が 1/3 となり効率よくエネルギーを吸収すると共に、基準階をより有効に使うことが可能となります。

駐車場階に  
集約配置  
Aggregated placed  
on 3rd, 4th and 5th  
parking levels



**職住者の複合施設を運営する森ビルならではのヒルズ連携ワーカー向けサービスの提供**  
 アークヒルズ フロントタワーにご入居のオフィステナントの方々には、六本木ヒルズ、アークヒルズなど森ビルのオフィスビルにお勤めの方々同様、様々なオフィスワーカー向けサービスを提供します。

1、店舗優待サービス

アークヒルズ、六本木ヒルズ、表参道ヒルズなど対象の約 200 店舗において、5～10%の割引や、お勤めの方限定のランチタイム優待サービスが受けられます。

2、ヒルズビジョン、情報提供サービス

森ビルのオフィスビルにお勤めの方限定のイベントやプレゼント企画など、お得な情報を厳選してタイムリーにお届けするメールニュース「OFFICE LIFE NEWS」を配信。

エレベーター内の映像メディア「ヒルズビジョン」でも随時情報を発信しています。

3、イベントを実施し、企業間の交流に貢献

森ビルのオフィスビルにお勤めの方々を対象に各種スポーツイベント（フットサルカップ、ランナーズカップ、ゴルフカップなど）を開催。毎回、大会やレセプションなどで多くのチームにご参加いただき、企業間交流の場になっています。



森ビル フットサルカップ



森ビル ランナーズカップ



森ビル ゴルフカップ

## ビル概要

ビル名称	アークヒルズ フロントタワー
所在地	東京都港区赤坂 2 丁目 23-1
敷地面積	2,006.45 m <sup>2</sup>
建築面積	1,251.61 m <sup>2</sup>
延床面積	24,858.49 m <sup>2</sup>
階 数	地下 1 階、地上 22 階、塔屋 1 階
用 途	事務所、住宅、店舗、駐車場
建物高さ	98.39m
構 造	S 造 一部 SRC 造 / 制振構造
事業者	森ビル株式会社
設計者	基本設計 森ビル株式会社、株式会社プランテック総合計画事務所 株式会社山下設計、株式会社建築設備設計研究所 実施設計・監理 大成建設株式会社 一級建築士事務所、 株式会社建築設備設計研究所 監修 株式会社プランテック総合計画事務所、株式会社山下設計
施工者	大成建設株式会社
着 工	2009 年 2 月
竣 工	2011 年 1 月



### 【本件に関してのお問合せ先】

森ビル株式会社 広報室 深野、森澤

住所：東京都港区六本木 6 丁目 10 番 1 号 六本木ヒルズ森タワー 私書箱 1 号

TEL : 03-6406-6606 FAX : 03-6406-9306 E-mail : koho@mori.co.jp